

第1回 短期入所床に関するシステム検討ワーキング 検討結果

令和4年6月9日（木）

注：以下の各論点に対する結論は第1回ワーキングにおける結論であり、今後、各施設から寄せられる意見等を踏まえたさらなる検討・協議により、変更となる場合があります。

1 システムの仕様について

(1) 論点1 システムの目的

結論 ⇒ 一般的な予約申込手続の支援ではなく、緊急利用（短期入所ベッド確保事業による利用を除く。）のための申込手続の支援を目的とする。

(2) 登録する（表示する）情報について

ア 論点2 施設側の状態を表す符号

結論 ⇒ 「○△×」の3種類とする。

ただし、○については扱いが難しいところもあり、利用に適した場面等について引き続き検討・協議することとした。

※ 各符号の意味

△：電話での確認が必要

（初期値：何も登録していない場合は参照画面に△が表示される）

×：満床など利用できる見込みがない状態

○：キャンセルが出た場合など、通常より利用できる可能性が高いと施設側が判断している状態（電話での確認を要することは△と同様であり、必ず利用できるわけではない。）

イ 論点3 性別の登録について

結論 ⇒ ×○を登録する際に、例えば「女性部屋のみ満床」など、性別を分けて表示したい場合は、併せて性別を登録することができる機能を持たせる。

(3) 参照画面について

ア 論点4 表示するカレンダーの範囲

結論 ⇒ 論点1において緊急利用の支援を目的としたことから、翌月まで（最大2月分：月末に登録し翌月初に翌々月分を表示する場合）とする。

イ 論点5 「○△×」以外で表示する情報は？

結論 ⇒ ・最終更新日 → 表示しない
・各施設のURL → 希望により表示を可とする

ウ 論点6 各施設の基本情報（個室・多床室の別、床数、送迎の範囲など）の扱い

結論 ⇒ 参照画面に表示するのではなく、別途、一覧表を作成し、公開する。ただし、「対応可能な医療行為」については事前に理事会に諮る必要があるとの判断から、継続協議とする。

エ 論点7 条件を指定して参照画面に表示する施設を絞り込む機能の検討

結論 ⇒ 次の条件を指定して、絞り込む機能を搭載する。
「区」及び「個室・多床室の別」

2 システムの運用について

論点8 登録（更新）はどのタイミングで行うか？

結論 ⇒ 1 月末の時点で、翌月分の更新及び翌々月分の登録を行う。（翌々月分の表示は翌月初）

2 登録した情報の更新は随時行うが、過大な負荷とならないよう、可能な範囲での努力義務とする。

※ 運用ルールについては、次回以降、引き続き協議を行う。

1 短期入所床に関するシステム検討の経緯

R03.10.25(月) 令和 3 年度第 2 回 連携・調整ワーキング

意見交換会 (川崎市・介護支援専門員連絡会・事業協会)

・介護支援専門員連絡会からの出席者の意見

「ショートを緊急に使いたいときに使えないという問題がある。これは、施設が不足しているからというよりもマッチングの問題ではないかと考えている。」

「ホームページ等でショートの状況が分かるような仕組みがあれば、もっと有効に活用できるのではないか。」

R03.12.24(金) 令和 4 年度予算要望 (事業協会⇒川崎市)

短期入所床の利用率の向上を図るため、効率的なマッチングの仕組みについて検討を行うよう要望

R04.03.14(月) 令和 4 年度予算要望に対する回答 (川崎市⇒事業協会)

「本入所への転換による短期入所生活介護の利用調整に係る影響等への解決策の検討及び本入所への転換に係る条件整備を進めている。」

R04.05.12(木) 令和 4 年度第 1 回 連携・調整ワーキング

意見交換会(川崎市・事業協会)

・行政からの要請

「短期入所床の利用については、居宅介護支援事業所向けに実施したアンケート調査においても、緊急利用する際に予約状況等が分かるような仕組みを求める声が寄せられている。

そこで、市としては、事業協会の皆様の意見を頂戴しながら、ケアマネージャーが短期入所床の予約状況を確認できるシステムについて調整を進めていきたいと考えているので、御協力をお願いしたい。」

R04.05.17(火) 事業協会 第 1 0 3 回理事会

経過及び対応方針について報告・確認

「システムの仕様及び運用方法について、事業協会会員施設の意見を十分反映させるため、早急に「システム検討ワーキング」を立ち上げ、検討に着手したい。」

2 想定スケジュール

R04.05 末まで	ワーキング委員の募集
R04.06.01	システム(原案)の試用 (ワーキング委員)
R04.06.09	第 1 回ワーキング システム(原案)に関する意見の集約 システム(テスト版)の仕様決定 ⇒(必要に応じて)システム修正 運用方法に関する検討項目の洗い出し
R04.06 中旬	システム(テスト版)の試用 (全施設・ケアマネ連絡会)
R04.07 上旬	第 2 回ワーキング (ケアマネ連絡会同席) システム(テスト版)に関する意見の集約 システムの仕様の決定 ⇒ システム (完成版) 開発に着手 運用方法 (仮案) の決定
R04.07 中旬	運用方法に関する意見照会 (全施設・ケアマネ連絡会)
R04.08 上旬	第 3 回ワーキング (ケアマネ連絡会同席) 運用方法 (仮案) に対する意見の集約 運用方法 (案) の決定
R04.08.24	報告及び運用方法の決定 (施設長会)
R04.09 上旬	システム完成・テスト (仮運用) 開始
R04.10 以降	運用開始

システムの原案（叩き台）

1 目的

短期入所床利用に関する施設側の状態（△×○）をカレンダー上に表示することで、介護支援専門員が行う利用の申込を支援するもの。

※空き状況を表示するものではない。

※施設側の状態（原案）

△：電話での確認が必要

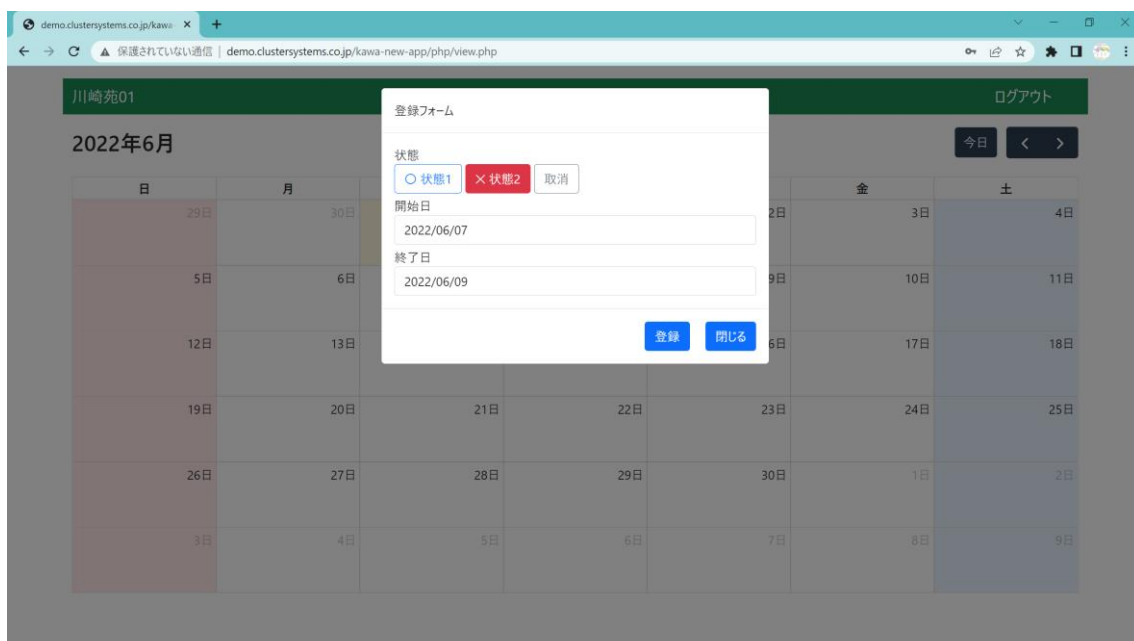
×：満床

○：電話での確認を要するが、キャンセルが出た場合など、通常より利用できる可能性が高い状態

2 概要

（１）システムは、Web ページ上に用意された施設向け「管理画面」と介護支援専門員向け「参照画面」からなり、いずれも ID とパスワードでログインした上でアクセスする。

（２）「管理画面」では、日にちを指定して○又は×の登録、若しくは登録の取消しを行うことができる。



資料 1-2

[illegible]